

(参考情報) 韓国農林畜産食品部公表情報

農林畜産食品部プレスリリース(2017年12月10日16時16分付け) 全羅南道靈岩郡の種あひる農場においてA I 疑似患畜確認

出典 URL:

http://www.mafra.go.kr/list.jsp?&newsid=155450061§ion_id=b_sec_1&pageNo=1&year=2017&listcnt=10&board_kind=C&board_skin_id=C3&depth=1&division=B&group_id=3&menu_id=1125&reference=2&parent_code=3&popup_yn=N&tab_yn=N

(機械翻訳等に基づく仮訳)

- 農林畜産食品部(長官:キムヨンロク)は、12月10日、全羅南道靈岩(ヨンアム)郡の種あひる農場でAI疑似患畜が発生したと発表した。
 - この農家は種あひる1万2千羽を飼育しており、12月8日から産卵率が低下したため、12月10日午前9時頃靈岩郡に申告した。
 - * 飼育規模:種あひる9棟1万2千羽(39週齢)、経営形態:個人
 - **周辺農家の状況:500m以内に家きん農家なし

- 農林畜産食品部は初動対応のために疫学調査班を急派して、鳥インフルエンザ緊急行動指針(AI SOP)に基づき移動制限、立入制限などの緊急防疫措置をとっている。
 - 併せて、当該農場から一ヶ月以内(11.9以降)に導入した11農場(羅州(ナジュ)市:2農場、靈岩郡:9農場)に対して移動制限と精密検査を実施することとした。

- 農林畜産食品部は、A I の拡散を防ぐための防疫措置として、家きん農家を含めた国民の積極的な協力を要請。
 - 家きん農家及び野生の渡り鳥の飛来地訪問は控え、疑似患畜発生地域における移動制限や消毒の積極的な協力を要請。